

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2021-158458  
(P2021-158458A)

(43) 公開日 令和3年10月7日(2021.10.7)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
HO4W 72/02 (2009.01)	HO4W 72/02	5K067
HO4W 72/08 (2009.01)	HO4W 72/08 110	
HO4W 74/08 (2009.01)	HO4W 74/08	
G06N 20/00 (2019.01)	G06N 20/00	

審査請求 未請求 請求項の数 21 O L (全 35 頁)

(21) 出願番号 特願2020-55284 (P2020-55284)  
(22) 出願日 令和2年3月26日 (2020.3.26)

(出願人による申告) 令和元年度支出負担行為担当官、総務省大臣官房会計課企画官、研究テーマ「電波利活用強靱化に向けた周波数創造技術に関する研究開発及び人材育成プログラム」に関する委託研究、産業技術力強化法第17条の適用を受ける特許出願

(71) 出願人 393031586  
株式会社国際電気通信基礎技術研究所  
京都府相楽郡精華町光台二丁目2番地2  
598015084  
学校法人福岡大学  
福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号  
(74) 代理人 100112715  
弁理士 松山 隆夫  
(72) 発明者 太田 真衣  
福岡県福岡市城南区七隈8丁目19-1  
学校法人福岡大学内  
(72) 発明者 太郎丸 眞  
福岡県福岡市城南区七隈8丁目19-1  
学校法人福岡大学内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 端末装置、コンピュータに実行させるためのプログラムおよびプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 パケット損失を抑制して周波数を有効利用する端末装置を提供する。

【解決手段】 予測手段3は、複数のチャンネルでチャンネル空き時間とチャンネル使用時間とを予測する。学習器5は、パケットの送信時間の長さを状態とし、チャンネルを選択することを行動とし、通信に成功したときのスループットを報酬とするQ学習を実行して各状態において最大のQ値が得られるときの行動を含む出力情報を出力する。制御手段4は、送信用パケットの送信時間の長さに対応するQ学習の状態において最大のQ値が得られるときの行動を出力情報から検出し、その検出した行動によって選択されたチャンネルを送信用チャンネルとして選択する。送信手段7は、制御手段によって送信用パケットが送信可能であると判定されると、バックオフを実行せずに、送信用パケットを送信用チャンネルで基地局へ送信する。

【選択図】 図2

